

2024(R6)プロジェクト演習

タイトル：高校の校則について

2313039 池田 美咲

2313054 高城 優菜

■概要説明：

学校の校則は、児童生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくために設けられているものである。校則は、学業時刻や児童会・生徒会活動などに関する規則だけでなく、服装、頭髪、校内外の生活に関する事項など様々なものが含まれている。しかし、これらの校則の中には今の時代に合ったものとは言えない校則が多々ある。そこで、私たちはK学校の校則について調べ、その学校に在籍する現役高校生3名にK学校の校則に対して不満に思うことや感じることについてのインタビューをすることにした。

また、時代とともにどのように学校の校則が変化してきたのかを知るために、年代別の在校生に対しアンケートを取ることにした。それらを基に、校則の変化や在り方についての考察をしていくことにする。

■目的：

私たち自身が高校時代の校則に対し不満を持った経験があり、校則がどのようにして生まれ、社会や時代とともにどのように変化してきたのかについて、興味を持ち調べることにした。また、現役の高校生のインタビューを通し、今の時代に合った校則とはどのようなものか、校則の在り方についてみていく。

■方法：

まず、現役の高校生3名にアポイントメントを取る。

次に、インタビューを実施するためK高校へ行き、録音の許可を頂き録音をしながらインタビューを行う。(50分程度)

そして、インタビューの内容を文字に書き起こしてまとめる。

■結果とまとめ：

今回、年代別に調査をしてみたが、どの年代もあまり校則に変化がないことが分かった。現役高校生のインタビューから、校則が矛盾していること、生徒の意見が用いられていないことを知った。過度に厳しい校則が生徒の自由や人権を侵害することがある。学校側は生徒が学びやすい環境を提供する責任があるが、生徒の人権も尊重されるべきである。さらには、服装検査を平等にするべきだ。学科の先生によって検査の基準が異なり、緩い先生、厳しい先生と差がある。これは絶対にあってはいけない。学校全体での指導批准を統一し、適切な指導を行っていくことが重要になっていく。これらの問題をこれから社会が、学校側がどう対応していくのか大事になっていくだろう。

2024 (R6) 年度 プロジェクト演習

タイトル：世代間における外見に対する意識の違いーピアスと髪染めを中心にー

学籍番号：2313076

名前：小田原恵美

2313077

松ヶ野彩花

【概要説明】

本研究は、世代間における外見に対する意識の違いを探求し、特にピアスと髪染めに焦点を当てている。外見は自己表現の重要な要素であり、社会的地位を反映する重要な要素であるため、世代ごとに異なる価値観や文化的背景が影響を与えると考えられる。しかし、外見に対する価値観や受容度は世代によって異なることが指摘されている。具体的には、若年層が自己表現や個性の重要性を強調する一方で、中高年層は伝統や職業的なイメージ、社会的規範を重視する傾向が見られる。本研究では、若年層と中高年層の間でピアスや髪染めに対する受容度や価値観の違いを調査した。調査方法として主にインタビューを用い、各世代の外見に対する意識やその背景にある社会的要因を分析した。最終的には、世代間のギャップを理解し、相互理解を促進するための示唆を提供することを目指す。この研究を通じて、世代間のギャップを明らかにし、外見に通じたコミュニケーションのあり方や個性の重要性を再考するきっかけとなることを期待している。

【目的】

本研究の目的は、世代間における外見に対する意識の違いを明らかにし、特にピアスと髪染めに関連する価値観を比較することである。これにより、各世代が持つ外見へのアプローチや社会的な需要の変化を理解し、外見を通じたコミュニケーションの重要性を再確認することを目指す。

【方法】

女子大学生2名、学校の教員2名（女性）に一人30～60分の個人インタビューを行った。インタビューのデータは、スマートフォンの録音機能を使用した。録音データを文字起こしのアプリを活用して書き起こし、それらを聞き書きとしてまとめた。

【結果とまとめ】

今回、インタビューを行ってみて、思っていたより世代間におけるピアスや髪染めに対する印象の違いは感じられなかったが、男性や地方の人など触れる機会が少ない人にもインタビューをしたら、また違った結果になったのではないかと感じた。また、ピアスや髪染めに対する価値観や印象の違いは、生活環境や人間関係が関わっているのではないかと考察した。初めてこのような形式のインタビューを行ってみて、自分たちが予想していた結果と違った回答や、その人の意外な一面が見え、非常に興味深い時間を過ごすことができた。今回は女性に絞っていたため、また機会があれば男性にも意見を聞いてみたい。